

図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がおすすめする1冊をご紹介します。

麻生図書館柿生分館長 永島 治

■「調理科学のなぜ？」

松本 仲子 著

料理に不慣れな私は、料理を作るときインターネットのレシピやレシピ本を参考にします。

レシピの多くは「このように作ります」が写真付きで手短かに説明されていて、その通りに作ると「おいしい」料理ができることになっています。でも、もし美味しくなかったら…？

今回ご紹介する「調理科学のなぜ？」の特徴は、レシピそれぞれに作り方が二つ紹介されていることです。「魚を煮付けるとき、魚を入れる煮汁の温度によって身の旨みに差が出るか？」「鍋の熱伝導率による湯豆腐のスの入り方の違い」などのように、作り方の差が味や仕上がりにどのように影響するのか？を科学的な考察を基に書かれています。例えば「ほうれん草のおひたし」を作る場合、「たっぷりのお湯をグラグラ煮立てて…」と、普通のレシピでは「お湯の量と温度」についてはサラッと書かれていて、つい調味料の分量や盛り付けに目が向きがちです。

なぜたっぷりな熱いお湯なのか？については、「シュウ酸（アク）をより多く料理から取り除く」こと。野菜を入れることで温度が下がることにより、お湯の温

度を「緑色を退色させる酵素が活発になる40℃」に近づけない等、理由が科学的に説明されており、なぜ失敗したかのヒントが得られるようになっています。

科学というと、私たち一般人とかけ離れたところにある縁遠い物に感じますが、意外に身近なところで役に立つのですね。学校で学んだ事がこんなところで身を結ぶとはちょっとうれしい気持ちになりました。

図書館にはこのほかにも、「日常生活に役立つ知恵袋」の本がたくさんあります。もしよろしかったら、いつもと違う書架を訪ねてみてください。



『調理科学のなぜ？』
松本仲子／著 朝日新聞出版

■麻生図書館柿生分館

小田急線柿生駅北口から徒歩5分。柿生小学校の敷地内にある図書館です。「柿生」の由来は「禅寺丸柿の生まれた町」「柿の木が生い茂っている村」という意味だといわれています。

柿生分館の入口は学校と別で、柿生駅から黒川方面に歩き、学校正門を通り過ぎた角を左に曲がったところに専用の入口があります。入口は別でも中は小学校とつながっているのが特徴で、部屋のおよそ6割が柿生分館、残りの4割が柿生小学校の図書室となっており、学校の中休みや放課後は子どもたちでにぎわいます。

児童書の割合が川崎の図書館や分館の中では一番高く、蔵書4万冊のうち半数近くが児童書です。館内には「あかちゃん絵本コーナー」も設置されており、未就学児を連れた親子でも楽しめます。毎週水曜日に開催する「おはなし会」は3歳からを対象にしたもの、小学生を対象にしたものがあります。近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

『かわさきロケアワード2008－2018』

映像のまちかわさき10周年を記念して、2008年～2018年の間に川崎で撮影が行われた映画・ドラマの中からあなたの「マイベスト」作品を選んで投票する「かわさきロケアワード」が2月28日まで開催中です。

これにあわせて、川崎市立図書館（分館・閲覧所を除く）では、該当作品の原作やシナリオ等を集めた特集コーナーを設置いたします。

★開催期間は図書館によって違いますので、各館に直接お問い合わせください。

高津図書館2月臨時休館
（工事のため）

2月4日（月）・18日（月）～2月25日（月）

★返却ポストはご利用いただけません。

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932
川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘 分館(788-1531)
幸 図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅閲覧所(946-3271)